

県の行財政の改革

しなやかで力強い県庁をめざし

行財政環境が引き続き厳しいことに加え、
先行きへの不透明さを増す中で「青森県基本
計画 未来を変える挑戦」に基づく施策を着実
に進めていくためには、しなやかで力強い行財
政運営体制をつくることが必要です。

このため、県では、昨年12月に行財政改革大
綱を改定し、これまでの歩みをゆるめることな
く行財政の改革に取り組むこととしました。
新しい大綱では、めざす行財政の姿として、
①柔軟かつ創造的な執行体制の確立
②地域との連携・協働の推進
③次世代に向けて持続可能な財政基盤の確立

を掲げるとともに、戦略的かつ着実に改革を
進めるため、今後5年間の取組の基軸を次の
とおり定めています。

1 業務戦略

業務の進め方の点検・改善や、その業務に
より得られた成果の検証の徹底など、適切な
業務マネジメントを確立し、限られた行財政
資源（職員や財源）で最大限の効果を発揮で
きる業務運営体制づくりに取り組みます。

2 組織戦略

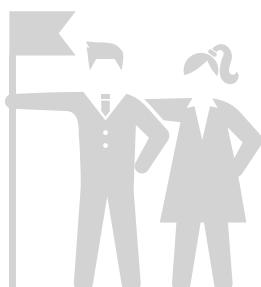
優秀な人材の確保や育成を進めるとともに
に、職員の能力を最大限に引き出す職場環境
の整備に取り組みます。

3 協働戦略

また、地域県民局の機能向上などの組織の
見直しや職員数の適正化に取り組みます。

4 財政戦略

収支均衡型の財政運営に向け、歳出改革
や財源確保の取組を継続しつつ、次世代の負
担軽減にも配慮した財政健全化に取り組み
ます。また、優先度を踏まえた重点化や成果
重視型の財政運営を徹底します。



ちょっとの工夫で、健康ごはん!

野菜ごろごろカレー

生産量日本一を誇る
青森県産のごぼう

野菜の「洗い方、切り方」によって、カラダに取り込む栄養素が変わることをご存知でしたか？
旬のごぼうと彩り豊かな野菜の栄養がまるごとカレーに溶け込んだカラダにやさしいカレーです。

下ごしらえで
栄養素を
逃がさない！

食物繊維が豊富に含まれることが知られている「ごぼう」。特にごぼうに含まれる食物繊維（イヌリン）は、糖質が腸から吸収されるスピードを遅くし、血糖値の上昇をゆるやかにしてくれる働きがあります。青森の野菜をもっと食べて、健やかな毎日を過ごしましょう。

洗う

◎ごぼうは、流水でこすり洗い
ごぼうの皮の部分には、ごぼう特有の香りや旨味・栄養素などがたっぷり。
包丁の背でこそぎ取らず、流水の下でたわしで軽く汚れをとる事で十分です。

切る

◎素材の旨味を引き出す切り方
皮の間に栄養素が詰まった大根、にんじんは、皮付きのまま乱切りに。
玉ねぎは、繊維に対して直角にうす切りにすることで、野菜の旨味を逃さず、
短時間で柔らかく煮込めます。

材料

◎材料 ※材料は4人分です

ごぼう…150g(斜め切りで水にさらす)

大根…100g

にんじん…70g

玉ねぎ…100g

豚すり身…100g

ブチトマト…100g(へたをとる)

にんにく…10g

生姜…10g

ごはん…米2カップ分

調味料

サラダ油…大さじ1

カレー粉…大さじ1・1/2

水…3カップ

バター…10g

塩…小さじ1

こしょう…適宜

しょうゆ…大さじ1・1/2

砂糖…小さじ1

米粉…大さじ2(大さじ2の水で溶く)

飾り用

ごぼう…50g

菜花…50g

揚げ油…適宜

1人分の栄養価

エネルギー…521kcal

塩分…2.5g

食物繊維…5.0g

(食物繊維の現在の目標量
(19歳以上:男性19g以上・女性17g以上)

[今回のレシピの野菜摂取量: 一人あたり160g]

「健やか力」アップ！一口メモ

青森県男性の野菜摂取量は1日あたり296gで全国23位、女性は292gで14位。

1位の長野県と比べると男性は1日あたり83g、女性は73g少なくなっています。

(野菜摂取量は、厚生労働省「平成24年国民健康・栄養調査」より)

目標は
1日あたり
野菜+100g
目安
1/2本

ごぼうなら…
大根なら…
おでん用 厚切り 2個

※「健やか力」とは、県民が主体的に健康づくりに向けた活動を実践していく力のことを表現します。

レシピ開発・調理／管理栄養士 福士るみ子